

和地ひとみレポート No.310

東京都広報コンクールで初入賞！日本経済新聞社「何でもランキング」で第4位
“桜”で評価される東大和市



■市報のカラー化で明るいニュース

…最近のこのレポートでは、市の財政状況のゆとりのなさ等、少し暗い(?)ニュースが多かったような気がしています。東大和市に住む市民の一人として、課題を認識し、市民の皆様にも知っていただきながら、解決、改善に向けての取組みを後押しすることは大切ですが、一方で、東大和市を良くしたい、盛り上げたいという気持ちには、やはり「東大和市って良いね」と思えるニュースも励みになり聞きたいところ。

…そんなことを考えていたところ、この度、良いニュースが2つ入ってきました。1つ目は東京都広報コンクールで東大和市の市報が第2席に入賞したことです。これは、東大和市の市報としては初のこと。

…多くの自治体が市報をカラー化している中、私は何年度も市報のカラー化を議会で取り上げてきました。

長年、費用の問題ということで実現しなかった市報のカラー化ですが、2018年4月15日号からカラー化を実現。市の職員の尽力で、カラー化しても市報の作成料を変えないだけでなく、むしろ下げるということも同時に実現されました。市報のカラー化は今回の東京都広報コンクールでの受賞のきっかけの一つ。そしてこの入賞により職員の“市民の皆様が読みたくなる”“市民の皆様が情報が届く”市報の充実という点でのモチベーションアップにもつながったと思います。

■東京都広報コンクール

…“東京都広報コンクール”は、公益社団法人日本広報協会が実施している全国広報コンクールへの推薦作品を選出することをために、東京都の生活文化局広報広聴部が、昭和43年から毎年実施しているコンクール。東京都と都内区市町村の行政広報の質的向上と、都と区市町村との連携による広報活動の充実を図ることを目的とし、都内のすべての自治体が参加可能で、全国広報コンクールへの推薦のみならず、都独自でも表彰を行っています。

【東京都広報コンクール 審査対象と部門】

1. 広報紙部門
2. 写真部門 一枚写真の部
3. 写真部門 組み写真の部
4. 映像部門

…今回、東大和市の市報が2席に選ばれたのは「3. 写真部門 組み写真の部」。受賞したのはカラー化第1号の平成30年4月15日号の6Pと7Pの見開きの“桜も満開・笑顔も満開”という市内の桜の名所や東大和市の桜の歴史を紹介したページ。カラー化第1号が手元に届き、見ていた際、この素敵なページが目飛び込んできた時のうれしさは忘れません。東大和市の良さが表れているとても良いページだったと思います。

…このコンクールの写真部門では、日本写真家協会会員のフォト・ジャーナリストの方と東京都生活文化局広報部広報課の都庁カメラマンの方が審査員となっており、昨年のその総評には「力作が多く評価するのが難しかったのですが、地域住民の心を動かすような、背中を押すことが出来るような作品を選びました。」というコメントがありました。このコメントから、行政広報という性質上、写真そのものの良さに加え、その街の空気感が伝わる、市民の皆さんが市のことを再確認できる紙面という点も考慮し審査されていると思いました。

…このコンクールのHPを見ると、まだ、前年度の結果しか公表されていないので、平成30年度の各部門の最優秀賞などは分かりませんが、羽村市のHPからは、同市が平成30年度は映像部門で最優秀賞、組み写真部門で奨励賞を受賞されたことを確認。

…このコンクールの良いところは、財政的な問題や、全国的に有名な観光地かどうかといったことに関係なく、その街、その街の情報をどう伝えるかという、取り組む職員の努力や工夫によって評価される点です。そして、その努力や工夫は、市報の受け取り手である市民にも伝わり、読みたい市報になるという実質的な効果も高まります。東大和市もカラー化初年度から入賞したのですから、ぜひ、全国コンクールでの入賞を目指してほしいと思います。

■桜の名所で第4位

…3月3日の日経プラス1の“なんでもランキング”は「レンタサイクルで楽しめる桜名所10選」でした。この調査は、自転車に詳しい編集者や、花、観光分野の専門家の取材を基に、「近くに自転車の貸し出しスポットがあり、桜が楽しめるサイクリングコース」22カ所をリストアップした後、10人の専門家が「サイクリングの爽快感」「桜の美しさ」「利便性」などを順位付けし実施され、その第4位に東大和市の多摩湖がランキングされました。

【ランキング結果】 ※紙面の関係上4位まで掲載

- 1位 つくば霞ヶ浦りんりんロード(茨城県土浦市など) 600pt
- 2位 千曲川堤防(長野県小布施町など) 500pt
- 3位 海津大崎(滋賀県高島市) 430pt
- 4位 多摩湖(東京都東大和市) 410pt

…今回の2つの話題の共通点は“桜”。東大和市は有名な観光地ではありませんが、桜の名所ということでは大きな魅力の一つだと再確認しました。特に日経プラス1のランキングでは身近な多摩湖が全国的に評価の高い場所だと外から教えられました。この魅力は、市民の生活が潤い、豊かになる特徴の一つです。大切に伸ばしていくべき魅力だと思います。

東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例は賛成多数で可決 東大和市は赤字補填繰入れを解消していない 2割の自治体の一つ



■市議会定例会での審査の結果

…3月18日に閉会した平成31年第1回市議会定例会では31件の議案（うち6件は来年度の予算）が審議されました。その中でより慎重な審査をするために厚生文教委員会に付託をされた議案は「東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」です。東大和市議会では、新設条例ならびに値上げを伴う条例改正については、委員会に付託し審査を行うこととなっています。

…今定例会に提出された「東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」のベースは、国民健康保険の広域化にともない市が作成した6年間かけて国民健康保険特別会計の赤字を一般会計からの繰入れで補填することを解消する計画。その計画により、今回提出された議案は、昨年度から今後6年の間、目標に向け、毎年度、保険税額を見直すという取組みの一つです。

…定例会最終日の本会議では、厚生文教委員会内での審査の概要ならびに審査結果の報告を受け、「東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」は賛成多数で可決となりました。

■広域化にともない

…公的医療保険は、各制度の中で加入者の年齢構成、医療給付、所得等の差がある中、それぞれの制度の中で運用されていますが、国民健康保険にはさまざまな構造的課題があります。そこで平成30年度から国民健康保険の広域化が導入され、都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体となり、区市町村とともに国民健康保険を運営し、国民健康保険が国民皆保険の下支えとして持続可能な制度となるように安定化を図ることとなりました。

…広域化に移行したことにより、国は低所得者対策の強化として約1,700億円、保険者努力支援制度や財政調整機能の強化等で約1,700億円、合計約3,400億円の財政支援を毎年公費として出し、激変緩和ならびに医療費抑制の取組みを推進しています。東大和市としては、この財政措置がある期間に、国保税の赤字（＝広域化により東京都から示される東大和市が都に納付する額に対する税収の不足分）に対する一般会計からの繰入れ補填を6年間で解消する計画を立てました。

…この計画では毎年約6%の値上げを実施することになっています。例えば、40代夫婦と子供2人、夫のみの給与収入400万円というモデルケースの場合、現在の保険税率等による国民健康保険税額は年39万1,400円、今回の改定による保険税額は年41万2,900円、計画の最終年度の保険税額を平成31年度の標準保険料率と仮定した場合の保険税額は年48万2,700円となると市は試算しています。

■保険税抑制のために

…上記の市の試算を見ても、やはり高額と思える国民健康保険税ですが、低所得者や子どもが多いご家庭への配慮を東大和市は導入しています。例えば国民健康保険税は応能割合の負担割合が本来50対50であることに對し、東大和市は64対36と低所得者に配慮した負担割合を設定。また、医療費抑制努力をしている自治体に国がインセンティブとして財政支援を設けていることから、東大和市はレセプトデータを活用し、糖尿病等重症化予防プログラム、ジェネリック医薬品利用差額通知等の事業を平成25年度から実施。このジェネリック医薬品等の医療費抑制事業の効果としては2億円、また糖尿病等の重症化予防の効果としては約1億6,000万円程度あったとのこと。そして、平成31年度には新たに低栄養防止に係るフレール対策、慢性閉塞性肺疾患の注意喚起を図る事業に取り組み、これらの事業により年間370万円ほどの効果を見込んでいるとのこと。国からの保険者努力によるインセンティブを獲得することで、保険税額の抑制を図る考えです。このような観点から、健康を維持への取組みは、各個人だけの問題ではなく、国民健康保険制度の安定化にも大いに関係していることがわかります。

■全国的に見ると

…当市と財政規模や被保険者数の規模に近い、大阪府貝塚市と広島県三原市の平成30年度の当初予算での比較では、前述のモデルケースの家庭の保険税額は、貝塚市は約10万円、三原市は約5万円、東大和市より保険税額が高いとのこと。また、広域化により全国の77%の自治体が保険税の引き下げ、据え置きを行っていますが、それはももとの保険税が高かったところに激変緩和の公費が入ったことによるものだとのことです。平成30年度当初予算では、全国の区市町村の約80%が赤字補填繰り入れを解消しており、東大和市は解消していない2割の自治体に入っています。

…市の国民健康保険運営協議会では、今回の改定に関する協議の際、一般会計からの赤字補填繰り入れをすることで、国民健康保険加入者以外の市税が上げられることを問題視した意見も出たとのこと。

今後の国保税については都から毎年示される納付額に関係しますが、医療費が抑制されれば納付額も下がり、保険税額も下がる可能性はあり、その一方で医療費が上れば納付額が増える可能性もあり得ます。

…現制度では、必要な時に必要な医療が受けられる国民健康保険制度の維持という長期的な視点も必要。市が医療費抑制に向けた取組みを進めるとともに、各人も健康維持に取組むことが、現実的な保険税値上げ抑制対策だと言わざるを得ません。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102